



### 台風18号の集中豪雨により、地下ブローワーピット満水警報！！

今年の台風は、暴風もさることながら降雨量のすごさには恐怖を覚えました。  
その記録的な降雨量によって台風の通過自治体では、数万人を超える避難勧告が発令されています。  
土砂災害発生など、都市のインフラ整備の見直しが迫られているような気がします。

台風18号の集中豪雨により、維持管理する神奈川県内、ディスポーザー排水処理システムの地下ブローワーピットより、ディスポーザー一括故障表示出ました。その原因は・・・。

- ① 地下ピットブロー室の給気・排気管より大量の雨水が流入した。その原因は埋設配管の損傷です。
- ② 地下ピットに設置の床排水ポンプは、大量の流入量に排出量が追いつかなかった。  
幸いにも対応は早く、ブロー・モーター浸水の一步手前で最悪の事態を免れました。  
是正措置
  - ① 床排水ポンプの能力をアップした。
  - ② 床排水ポンプの逆止弁の作動不良(全開せず)が判明し修繕した。
  - ③ 給気・排気管の修繕工事で雨水の侵入をシャットアウトした。

### 想定外は潜んでいます！！

まさか、地下埋設の機械室に、天井配管の給気・排気パイプより雨水が侵入するとは想定外です。そこに設置の床排水ポンプは、地下入口のマンホールより侵入の僅かな雨水、もしくは、底盤および壁面より浸み出す地下水の排水を想定し設置されたものです。しかし、台風のお蔭で想定外に遭遇しました。何事も用心、用心です。



### 水物語No11 首都圏外郭放水路！！

資料参照：国土交通省江戸川河川事務所ホームページ他より

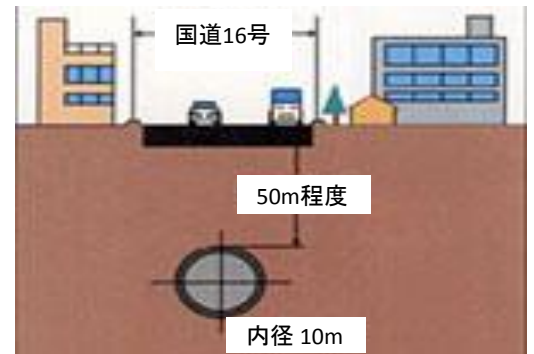
地下50mを流れる、世界最大級の地下放水路です。

首都圏外郭放水路は、溢れそうになった中小河川の洪水を地下に取り込み、地下50mを貫く総延長6.3kmのトンネルを通して江戸川に流す、世界最大級の地下放水路です。日本が世界に誇る最先端の土木技術を結集し、平成18年6月に完成。完成に先立ち、平成14年から部分的に稼働し、毎年7回程度の洪水を安全に処理することで、住宅地等への氾らんを防いでいます。

、私たちの目に触れることなく洪水と闘う首都圏外郭放水路のスケールは正にギネス級。洪水を取り込む直径30m、深さ70mに及ぶ5本の巨大立杭をはじめ、地中深く6.3kmにわたって走る直径10mの地底トンネル、重量500トンの柱が59本もそびえるマンモス水槽、そして、毎秒500m<sup>3</sup>の水を排水する14000馬力タービンなど、そのすべてが想像を超えるスケールです。

首都圏外郭放水路整備は、慢性的な浸水地帯である中川・綾瀬川流域の埼玉県春日部市および周辺市町の、治水対策として、浸水被害解消のため水防災上の抜本策として建設され、良好な住宅地供給を目的として、大都市法に位置づけられている主要プロジェクトなのです。

東京都では、神田川・環状七号線地下調整池は、第1期供用開始し、只今、第2期工事中です



東京都中央区新川1-16-8 KSビル 6F  
 汚泥ゼロ・臭気ゼロ  
 ハイブリッドシステム推進中！  
 株式会社クリーンテックサービス